



〈現場および現場周辺の様子〉



本工事は、神戸川堤防の堤防裏法尻付近において軟弱地盤対策として広幅鋼矢板を施工する工事です。これにより、堤防体である築堤盛土の土圧による地盤沈下から近隣住宅を守ることができます。

この現場は、広幅鋼矢板(25H型)L=21.5m~25.5m(191枚)をウォータージェット併用鋼矢板圧入工法により圧入します。

施工箇所が上流工区と下流工区と分かれており、当日は上流工区の矢板圧入状況(4枚目)を見させていただきました。

現場には安全通路の単管柵や多言語で記載された注意喚起垂幕が設置されており、作業員に対する安全施設が充実していました。また、床掘箇所足場板が設置されており、作業員の作業効率向上に繋がるとも良い取組だと思いました。

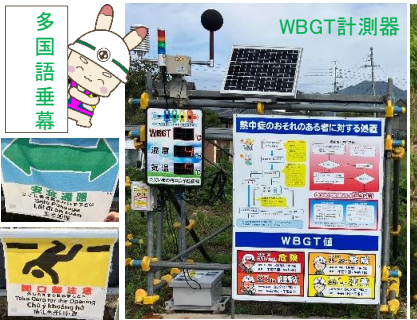


【工事特性】

現場は高圧電線が近くにあるため、クレーン作業を行うには厳しい現場環境ですが、クレーンには安全装置として起伏・旋回ロック装置を搭載し、電線にクレーンが接触しないように3Dバリア(3Dモニタリングシステム)を活用して安全に作業を進めておられました。

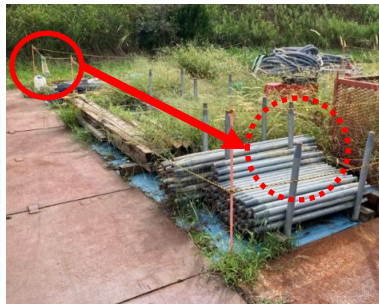
【3Dバリア】

GNSSを利用し、クレーンブーム先端の位置情報をリアルタイムで確認することができます。進入禁止エリア(高圧電線付近)を設定し、クレーンブーム先端が禁止エリアに侵入した際に、パトライトが点灯して周知するシステムです。



【BIM/CIM活用工事情報掲示板】

現場近くにある公園利用者に向けて、3次元モデル(BIM/CIM)を活用した工事看板が設置されていました。看板には、工事の施工方法や進捗情報が閲覧できるQRコードも掲載されており、第三者の工事への理解向上が図られていました。



【指摘事項】

現場事務所にある資材置場の明示を見えやすい場所へ変更してください。また、現場にある資材置場に「資材置場」の明示をしてください。



【指摘事項】現場に置いてある使用されていない資材は資材置場で保管してください。

現在、全国労働衛生週間準備期間です。夏が過ぎ、朝夕涼しい気温にはなりましたが、1日を通しての寒暖差が激しく、体調管理が難しい時期です。今後も熱中症対策を万全に行ったうえ、体調管理にも十分気を付けて作業なさってください。皆様ありがとうございました。ご安全に！！

